

成長する幹
～中堅学年として かっこいい先輩になる～

東広島市立磯松中学校
第２学年通信　第６号
令和８年 10 月 15 日(木)

職場体験お疲れさまでした！

みなさん、体験期間中はどうでしたか。いろいろな事業所を回ってみなさんの様子を見ましたが、普段とは違う緊張感のある顔や、真剣に話を聞く態度に感心しました。私が中学生の頃は、世界中で活躍していた店長さんが経営する、地元のカフェに行きました。そこでは、カフェの店長さんの生きがいを聞いて世界で活躍する人に憧れを強く持ったことを覚えています。みなさんも事業所の方のいろいろな話を聞いて刺激をたくさん受けたと思います。その気持ちを忘れず、大切にしてほしいと思います。
















本との出会いをつなぐ「POP コンテスト」を開催しました

自分の好きな本の魅力を工夫して伝える「POP コンテスト」を開催しました。どの作品も情熱がこもっており、読んだことがない本でも思わず手にとってみたくなる素晴らしい出来栄えでした。これをきっかけに、今回クラスの友達がおすすめしていた本を手に取って実りある読書の秋にしてくださいね。





10月の文化祭へ向けて



いよいよ合唱祭の練習が本格的に始まってきました。みなさんは練習にどう向き合っていますか。「本気で金賞を狙いたい！」と燃えている人もいれば、どこか身が入らない人もいるかもしれません。また、クラスで気持ちの温度差があり、かえって「なぜこんなに必死になっているのだろう」と思っていませんか。そんな皆さんに、考え方の一つのヒントとして Apple の共同創業者の一人であるスティーブ・ジョブスという人物の話を紹介したいと思います。彼は、あるスピーチの中で、点と点をつなぐ（Connecting the dots）」という言葉を使いました。彼の言葉を要約すると、「過去にやってきたことが将来どうつながるかは誰にもわからない。だからこそ、自分の選択や行動を信じて全力で生きることが大切なのだ。」ということです。今みなさんが取り組んでいる合唱の練習も、「ただの学校行事」に思えるかもしれません。でも、本気で取り組んだ記憶や、クラスの仲間と試行錯誤した時間は、必ず将来の自分を支える「点」になります。後から振り返った時に、「あの時、本気でやってよかった」と思えるような、素晴らしい「点」をこの合唱祭でたくさん打っていきましょう。また、合唱祭に限らず、学校生活や部活動などでもこの考え方を大切に生活していってほしいと思います。


